

表面・界面の反応／成長制御 による高機能性材料の創製

日時：2025年 9月 8日（月）13:30～17:10

会場：名城大学天白キャンパス＆オンライン

薄膜・表面の研究分野において、薄膜の制御形成や表面・界面の測定・制御に関する学理や技術が構築され、現在、様々な分野でこれらが応用されています。本シンポジウムでは、IV族系材料における表面・界面に焦点を絞り、その制御技術・物理について、デバイス分野および材料分野の研究者や学生が会して議論、情報交換する場を設けました。国内外の第一線の研究者に制御技術およびデバイス応用に関する研究についてご講演頂き、多くの方々に活発に意見交換をしていただくことで、今後の研究開発の進展に資すれば幸いに存じます。

招待講演者（敬称略）

1. 知京豊裕（NIMS）
マテリアルズインフォマティクスを使った機能性界面の理解と課題
2. 都甲薫（筑波大）
Deep Learningを用いた結晶成長過程の解析
3. 宇佐美徳隆（名古屋大）
シリコンをモデルとした多結晶材料情報学の開拓
4. 山本裕司（IHP）
歪および表面形状制御による三次元自己周期整合型IV族ナノドット成長
5. 深田直樹（NIMS）
Si/Geナノワイヤーの界面・物性制御
6. 杉本泰（神戸大）
広範囲にサイズ制御されたシリコンナノ粒子の機能開拓
7. 中村芳明（大阪大）
熱電応用に向けた表面・界面制御による高性能薄膜の創製

世話人

牧原克典（名古屋大）

秋山亨（三重大）

企画

薄膜・表面物理分科会

大分類6（薄膜・表面）